

2024年9月20日
記者発表資料
生涯学習部図書館課 文学館長 野澤
電話 042-739-3420

「没後1周年 森村誠一展」の開催について

町田市名誉市民であり、町田市民文学館の創設にも尽力された森村誠一氏の没後一周年にあわせた回顧展を開催します。

本展は新書判刊行や2時間テレビドラマ化を通じて、推理小説の愛好者をサラリーマンやOL、お茶の間の主婦層にまで広げ、一貫して大衆に寄り添った作品を量産し続けた森村誠一の創作の軌跡を追い、その先駆者的な意味を問う企画展です。また、展覧会に併せて開催する「人間の証明」「野性の証明」の上映会や1970年代の角川文化の考察を行う座談会、森村を師と慕う女性推理作家の対談や朗読劇上演など、多彩な関連イベントを通じて改めて森村作品を楽しんでいただきたいと思います。

■会 期：2024年10月19日（土）～12月22日（日） 10時から17時
※休館日：毎週月曜日（ただし11月4日は開館）、11月14日（木）、
12月12日（木）

■会 場：町田市民文学館ことばらんど（原町田4-16-17）

■展示内容：第1章 高度経済成長期を背景に 第2章 都会派ミステリの萌芽
第3章 魅力的なキャラクター 第4章 時代小説を書く理由
第5章 山岳ミステリ～青春のわすれもの

■観 覧 料：一般 600円 大学・高校生 300円 ※中学生以下無料

■協 力：公益財団法人角川文化振興財団 幻冬舎

■森村誠一氏について

森村誠一は日本が高度経済成長期を迎えた1960年代、ホテルマンから転身して社会派推理作家としてデビューします。その初期作品は企業間の熾烈な競争や大きな野望を抱いて社会的成功を成し遂げようとするエリートの姿を描き、「モーレッツ社員」と呼ばれた当時のサラリーマン像を浮き彫りにするものでした。

映画化を前提に角川春樹の依頼で執筆された『人間の証明』（1976）は、文庫本と映画化を抱き合わせたメディアミックス戦略によって爆発的な人気を集め、発行部数770万部を誇る文字通り森村誠一の代表作となります。

市ホームページ：

https://www.city.machida.tokyo.jp/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul08Literature/yukari-sakka/50on/morimuraseiichi.html

■関連イベント

講演会

- 11月1日（金） 大沢在昌「ミステリーと私」
- 11月2日（土） 中川右介「角川映画、メディアミックス時代の夜明け」
- 12月7日（土） 大野 茂「森村誠一のいる2時間ドラマ 土ワイ&火サス全史」

映画上映会

- 11月3日（日） 人間の証明 / 11月30日（土） 野性の証明

座談会

- 11月4日（月） TVOD(サブカルチャー評論ユニット)×多田洋一
「森村誠一のいた1970～80年代 角川文化をめぐって」
- 12月1日（日） ケルンの会「わたしたちの森村先生！知られざる作家の素顔」

短期集中講座

- 11月23日（土）、24日（日） 渡辺祐真（書評家、文学系 YouTuber）
「もっと知りたい森村誠一！スケザネ先生と読むミステリ入門」

朗読劇

- 12月15日（日） 朗読劇かわせみ座 森村誠一原作「雪の絶唱」

会期中いつでも参加できるイベント

展示室で謎解き体験：全問正答の先着300名に森村誠一旧蔵著作本を進呈します。